

キーラー耳鏡



【警告】

- ・本製品を落下させたり、強い衝撃を与えると故障の原因となる恐れがある。
- ・本製品は精密医療機器であり、知識及び経験のない者が分解しないこと。
- ・本製品を改造しないこと。

【禁忌・禁止】

- ・可燃性ガスの前では使用しないこと。爆発の恐れがある。
- ・いかなる液体にも浸さないこと。故障の原因になる。
- ・故障・損傷の際には使用しないこと。
- ・ディスプレイブルスペキュラには気密性がないので鼓膜通気テストには使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観図、構造



本製品は機器上部の耳道観察部を通して患者の被検耳道内部を観察するもので、下部ハンドル内には電池（乾電池または充電電池）が組み込まれており、耳道観察部に組み込まれた光源部より患者の被検耳道に光を与えることで検耳時の照明としている。

なお、ポケット直像鏡以外の型式名称のものにはそれぞれ乾電池式と充電電池式のものが用意されており、その形式に伴って照明光源ランプも異なる。

2. 品目仕様等

型式名称	拡大レンズ倍率
	拡大レンズ取付方法
	その他仕様
スタンダード耳鏡	2. 5 ×
	固定式
	閉鎖型耳道観察部
プラクティショナー耳鏡	2. 5 ×
	スライド式
	開放型耳道観察部
ファイバーオプティック耳鏡	2. 5 ×
	スライド式
	光ファイバー高輝度照明
ポケット耳鏡	2. 5 ×
	固定式
	小型軽量型

◇拡大レンズがスライド式で取り付けられている型式の耳鏡の場合には、レンズを取り外して患者の被検耳の外耳道を直接観察することが出来る。

【使用目的又は効果】

本製品は耳道内部の検査に用いる手持ち型医療機器であり、患者の被検耳に照明を当て、拡大レンズを用いて耳道内部を拡大して観察する。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用方法等】

1. 患者の被検耳道に合ったスペキュラまたはディスポーザブルスペキュラを本製品の耳道観察部の先端に取り付ける。
2. ハンドル上部のダイヤル式電源スイッチを投入し、光源ランプが点灯する事を確認する。
ダイヤル式電源スイッチで光源ランプの光量を調整出来るが、光量が弱い時には使用を中止し、乾電池を新しいものに交換するか、充電電池を充電した後で検査を実施すること。
光源ランプが点灯しない場合にはランプ切れの可能性があるので、ランプを交換する。
光源ランプには2種類あるので、必ず型式番号に合致するランプに交換すること。
なお、ランプ交換を実施する際には安全のために必ず電源スイッチを切ってから行うこと。
また、検査途中で光源ランプの交換を実施する場合、使用中の光源ランプが発熱しているので注意して実施すること。
3. スペキュラまたはディスポーザブルスペキュラの先端を患者の被耳の外耳道に差し込む。
4. 患者の被検耳内の検査を実施する。
5. 型式名称「プラクティショナー耳鏡」及び「ファイバーオプティック耳鏡」は拡大レンズ部がスライド式に開放可能であり、患者の被検耳道を直接観察することが出来る。
6. 検査終了後は必ずハンドル上部のダイヤル式電源スイッチを切ること。
7. 本製品が汚れた場合には、
レンズ表面の汚れはレンズ清掃用布で清掃するか、埃等はブローアーで空気を吹き付けて清掃すること。
本体外装及びスペキュラの汚れは中性洗剤を塗布した布等で拭くこと。
8. ディスポーザブルスペキュラは患者間の感染症の感染を防ぐ為に単回使用とし、繰り返し使用しないこと。
9. 本製品は精密医療機器であり、埃等の付着を防ぐために使用後は必ず専用ケースに入れて保管すること。

【使用上の注意】

1. 使用前に照明用光源ランプの点灯を確認すること。
2. 照明用光源ランプの光量が弱い時には乾電池を新しいものに交換するか、充電電池を充電してから使用すること。
3. 乾電池仕様か充電地仕様かの識別はハンドル底面の色で行う。
底面が赤いハンドルは充電電池仕様。
底面が青いハンドルは乾電池仕様。
4. 交換用光源ランプには2種類あるので注意をすること。
底面に赤い円が描かれている交換ランプは、充電電池用 3.6V 仕様。
底面に青い円が描かれている交換ランプは、乾電池用 2.8V 仕様。
5. ディスポーザブルスペキュラには気密性がないので鼓膜通気テストには使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 本製品は精密医療機器であり、埃等の付着を防ぐために必ず専用ケースに入れて保管すること。
2. 長期間使用しない場合には本製品より電池を抜いて保管すること。

【取り扱い上の注意】

本製品は精密医療機器であり、取り扱いには充分注意を払うこと。

【保守・点検に係る事項】

1. 定期的に目視で点検し、レンズ部分はレンズクリーニングクロスで清掃すること。
2. 充電電池式の場合は定期的に充電電池を充電すること。
3. 乾電池式の場合は定期的に乾電池を新しいものと交換すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者：
株式会社 キーラー・アンド・ワイナー
TEL：03-3815-7787
2. 製造業者：
Keeler Ltd.（キーラー社：英国）

取扱説明書を必ずご参照下さい。